

議会傍聴後のグループディスカッション（教室にて）

桑原（文責）、松本、工藤、土肥、野口、堀脇グループ

Q1. 議会を傍聴して、どのような印象を受けた？

雰囲気としてはピリついていて敵対心むき出しなのかと思っていたが、地域をより良いものにするために有意義な話し合いを行っていると感じた。また、休憩中の穏やかな雰囲気や、傍聴者とも談笑している姿が印象的だった。

Q2. 質疑応答に対しての感想は？

子どもの権利侵害に関して、「校則は生徒のためのものだから先生と生徒両方で見直すべきではないのか」という質問があった。それに対し、回答者側は「学校の教育方針に沿ったものを校則にしているが、学校が忙しく、見直されていない可能性がある」と回答した。

最近ブラック校則が問題になっているが、その裏で毎年校則を見直していることを初めて知った。だが見直していない学校も多い気がするので、先生の指導を早急にしてもらいたい。



龍（文責）、江河、緒方、中村、前田グループ

Q1. 議会を傍聴して、良い印象を受けたところは？

それぞれの質問に対しての資料が用意されており理解しやすかった。また、思っていたよりも和やかな雰囲気や、議論しやすそうで良いと感じた。

Q2. 通告内容についてどのような印象をもった？

全国的に取り扱われている問題は地方でも広めていくべきだなという内容だった。大津町だけに関係する内容もあった。規模関係なく問題提起してあると感じた。また、LGBTや電動アシスト自転車がどういうものかという言葉の説明があり分かりやすかった。

Q3. 議会を傍聴しての個別の質問の感想は？

「自分は同性愛者です」と堂々と言える世の中ではないため、少しでも多くの人に理解してもらうための話し合いを進めてよいと思った。大都市だけでなく、地方でもこのようなことが話し合われているのは意外だった。町から小規模ながら行動していくのは素敵だと思った。

また、LGBTの政策について、ガイドブックを作っていたり、職員研修が実施されていたりと、多くの制度を固めていて前向きな姿勢を感じた。



特集

尚綱大学生によるレポート 17

議会傍聴（一般質問）の感想

現代文化学部 1年 緒方菜南子（あさぎり町出身）

A. 議会全体の雰囲気

今回、議場で議会を傍聴するのは初めてでした。通告者が答弁者から納得のいく返答を得ることができなかった場合、通告者が答弁に対する疑問や不満に思ふ点などを述べ再度答弁を求めるなど慎重に進行されていました。

また、想像以上に議場は狭かったため、通告者の熱意を身近に感じることができました。



B. 気になった質問事項についての感想「自治会等に対しての男女共同参画の推進」

質問の要旨

【大津町の自治会・区の役員には女性が少ない。自治会の政策・方針決定の場における女性の参画を推し進める取り組みはあるのか】

自治会・区の役員に女性が少ないのは女性の参画を推し進める取り組みがないからと思っていましたが、アンケートの結果より56.2%の女性が男性に役員をやってもらった方がよいと感じていることに大変驚きました。取り組みがないのではなく、女性に積極性がないという面もあることが意外でした。

現代文化学部 1年 工藤留奈（熊本市出身）

A. 議会全体の雰囲気

今回初めて議会傍聴に参加しました。参加前は緊張感があり、場の空気が張り詰めているイメージでした。

しかし、質疑応答時は緊張感がありましたが、休憩時は傍聴席の方と議員の方が話をしていた、和やかな雰囲気や少しイメージが変わりました。



B. 気になった質問事項についての感想「保育の待機児童状況と保育士の確保について」

現代では、待機児童が問題となっていますが、この話題で1番驚いたのは、保育士が不足していることです。収入が少ないことや勤務時間外労働が問題となっているそうです。待機児童を減らすためには、保育施設の増加、受け入れ人数を増やすだけではなく、保育士の確保も必要だと知りました。保育士を確保するには、待遇をよくしなければならないと思いました。

今回の議会傍聴に参加したことで、大津町の様々な課題や、初めて知ったこともあり、とても勉強になりました。